

# 日本のイノベーションと科学へのコミットメント

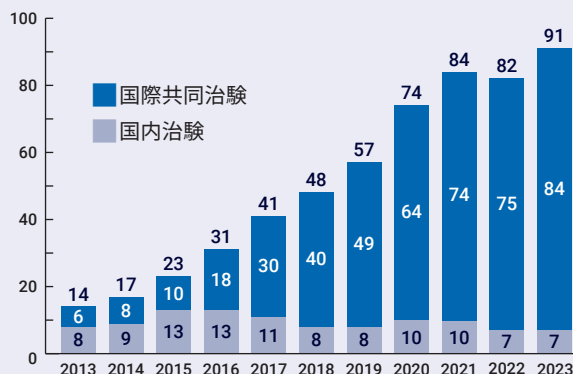
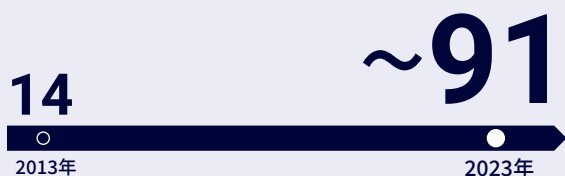


アッヴィは、最先端の科学技術と先進的な取り組みにより、日本社会のために一日も早く革新的な新薬を開発し届けることにコミットしています。私たちのグローバルな英知と日本における専門性を最大限に生かし、患者さんの笑顔に貢献し続けてまいります。

アッヴィ合同会社 社長  
ジェームス・フェリシアノ

## 2013年～2023年の開発の活動動向

### 臨床試験数



### 臨床試験(2023年)のうち

**90%以上**が国際共同治験



### 開発品目数\*

2013年 6      2023年 **59**



※開発中の薬の数

### プロジェクト数\*

2013年 11      2023年 **101**



※開発中の機能数

欧米に遅れることなく、パイプラインの同時開発・同時申請を進め、患者さんにいち早く新たな治療選択肢の提供を目指しています。

### 同時申請

**5件**



2020年以降、欧米の申請後30日以内に申請したもの。  
(欧)は欧州のみとの比較

#### 「リンヴォック®」

- ・関節症性乾癬
- ・アトピー性皮膚炎
- ・クローン病

#### 「ベネクレクスタ®」

- ・急性骨髄性白血病(欧)

#### 「ヴィアレブ®」

- ・パーキンソン病

### 世界に先駆けての承認取得と発売

**2件**

2019年  
ヒト化抗ヒトIL-23p19モノクローナル抗体製剤 スキリージ®製造販売承認取得

2023年  
抗パーキンソン剤 ヴィアレブ®発売

### グローバルFirst in Human (G-FIH)※ 試験への参入

**23試験**

欧米と同時開発・同時申請を目指し、2020年以降G-FIH試験への積極的な参入を進めています。

※ヒトに初めて投与する試験

日本の医療現場のニーズに応えるべく、日本独自で開発を行ったり、小児開発へも力を入れています。

### 日本での独自開発

# 5件



承認を取得した適応症とその製品

#### 「ヒュミラ®」

- ・腸管型ベーチェット病 (2013年)
- ・膿疱性乾癬 (2018年)
- ・壊疽性膿皮症 (2020年)

#### 「スキリージ®」

- ・掌蹠膿疱症 (2019年)
- ・乾癬性紅皮症 (2019年)

### 小児開発

# 5件



承認された製品とその適応症。

今後は原則、全ての開発において小児開発を行います。

#### 「ルボックス®」

- ・小児強迫性障害 (2017年)

#### 「マヴィレット®」

- ・C型慢性肝炎 (12-17歳、2019年)

#### 「ヒュミラ®」

- ・潰瘍性大腸炎 (2021年)

#### 「リンヴォック®」

- ・アトピー性皮膚炎 (12-17歳、2021年)

#### 「マヴィレット®」

- ・C型慢性肝炎 (3-11歳、2022年)

## 世界のアッヴィ



### R&D投資額

# 550億ドル

2013年の事業開始以来これまでに、  
米国本社がグローバルに投じた総額 (調整済み)

※2022年までのデータに基づく

### R&Dの社員数 (全世界)

5,000人 **12,000人以上**

2013年

2023年

## アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製とソリューションの提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、がん、精神・神経疾患、スキンケア、さらに美容医療関連のアラガン・エステティクスポートフォリオの製品・サービスです。アッヴィの詳細については、[www.abbvie.com](http://www.abbvie.com)をご覧ください。X (旧Twitter) @abbvie、Facebook、LinkedInやInstagramでも情報を公開しています。

日本においては主に、免疫疾患、肝疾患、精神・神経疾患、がん、スキンケアの領域、さらに美容医療関連のアラガン・エステティクスのポートフォリオで、製品の開発と提供に取り組んでいます。日本のアッヴィの詳細については、[www.abbvie.co.jp](http://www.abbvie.co.jp)をご覧ください。FacebookやYouTubeでも情報を公開しています。